

平成31年度 スマートものづくり応援隊補助事業  
**JPCAものづくりアカデミー**  
(ものづくりカイゼンスクール)

～第5期受講生募集のご案内～  
＜受講予約受付案内＞

**第一次募集期間**

**令和元年5月16日～5月31日(金)**

**第二次募集期間 6月1日～6月15日\***

※第一次募集にて定員に満たない場合のみ、第二次募集を行います。

一般社団法人日本電子回路工業会

〒167-0042 東京都杉並区西荻北3-12-2 回路会館2階

TEL. 03-5310-2020 FAX 03-5310-2021

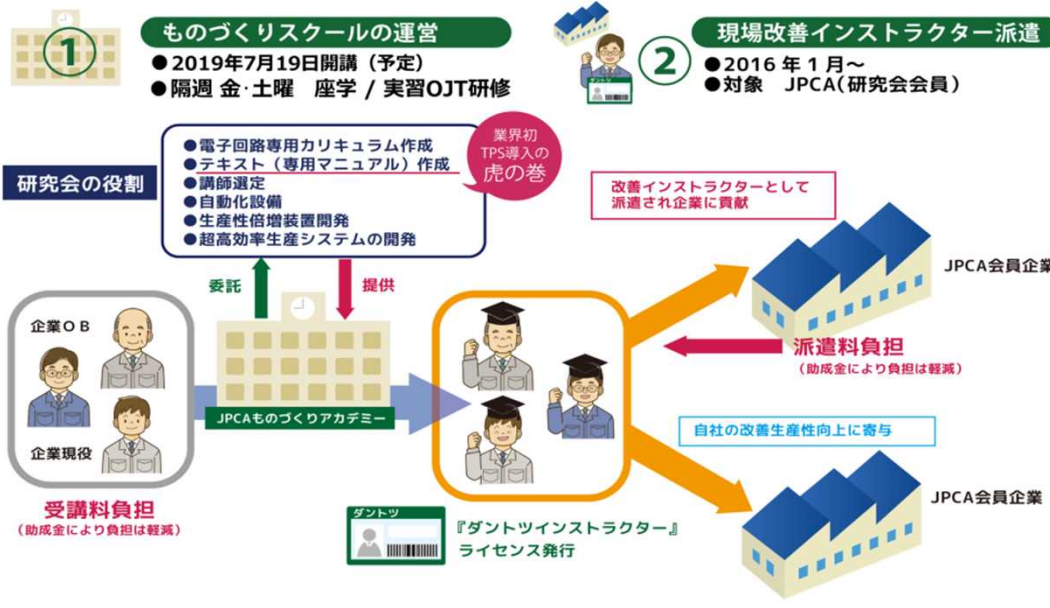
電子メール：EESMAP@jpca.org

# JPCAものづくりアカデミーの目的

一般社団法人日本電子回路工業会では、経済産業省のスマートものづくり応援隊事業補助金を受け、ものづくり改善指導人材を養成する「第5期JPCAものづくりアカデミー（ものづくりカイゼンスクール）」を開講いたします。

我が国電子回路業界は、生産革新を行い、国内外企業競争に打ち勝てる強い現場づくりや生産性を2倍、3倍と上げることのできる現場を改善し続ける企業体質をつくり上げることが急務であります。その強い企業体質のレベルアップを図る為にはスキルの高い人材が必須であることから、本アカデミーでは、経営改善（圧倒的な“品質向上”、“リードタイム短縮”、“コスト削減”等）のノウハウを身に付けて頂き、ものづくり改善ネットワーク（MKN）（藤本隆宏代表理事会長/東京大学教授）、エレクトロニクス実装学会（JIEP）、日本設備管理学会-スマートメンテナンス研究会等をはじめとする学术界連携のもと、経験豊富な講師陣の講義と実習により様々な手法を学んで頂くことで、電子回路企業での生産革新や改善支援活動への支援ができるものづくり改善指導人材を養成します。

受講者となる現役企業担当者は、自社のカイゼン活動における指導者になって頂きます。電子回路企業OB人材には、企業経営面での経験と過去に培った現場改善や指導力、保有されるチカラを本アカデミーでブラッシュ・アップ頂き、電子回路産業のカイゼン指導者になって頂きます。



第1期受講生の皆様



第2期受講生の皆様



第3期受講生の皆様



第4期受講生の皆様

本アカデミーでは、ものづくりの重要性から紐解き、生産の流れや製造工程の流れでムリ、ムダのない「ものづくりの良い設計の良い流れ」理論と手法を身に付けることができる座学、本年度から新設のロボット実機操作講習や昨年度に引き続きIoTと設備メンテナンス管理講習等によると共に、実際に自社の製造現場において経験豊富なJPCA改善インストラクターが付く現場実習OJT研修を行う実践的なものとなっており、体感的に学ぶことができます。

なお、本アカデミー修了者（企業OB/OB相当者）については、別途計画している現場改善インストラクター派遣事業への展開が予定されており、電子回路企業の生産革新や改善支援活動への支援チームとして、電子回路業界のカイゼン支援のご協力を頂くことがございますことを予めご了承願います。

# JPCAものづくりアカデミー開催要領

## 開催内容

【受講期間】 令和元年 7月19日（金）～12月中（予定）  
13日間（座学講義12日間は10月5日（土）終了・現場実習  
OJT研修2講座1日間）

【場所】 回路会館 会議室  
（東京都杉並区西荻北3-12-2）  
※日程により、会場の都合から付近の貸会議室となる場合もございます。  
予めご了承下さい。

【募集定員】 20名（概ね昨年度規模を想定）  
※本年度も1社からの受講可能人数は最大2名までと制限させていただきます。

【募集対象】 ①電子回路企業に勤務し、生産現場の管理や改善に携わっている（または携わる予定のある）企業の現役社員  
②電子回路製造現場の経験豊富なOB

【受講料】	（JPCA会員企業現役）	29万円（税別）
	（E-ESMAP研究会会員企業現役）	14万5千円（税別）
	（JPCA非会員企業現役）	40万円（税別）
	（JPCA会員企業出身OB）	7万円（税別）
	（JPCA非会員企業OB）	15万円（税別）

【主催】 一般社団法人日本電子回路工業会



## 【受講申し込み方法】

- ◆第1次申込期限 令和元年5月31日（金） 必着（定員未達の場合のみ第二次募集実施）
- ◆受講申込予約票をお送り頂いている方も、正式申込書のご提出が必要となります。
- ◆申込方法  
所定の申込に必要事項を記載の上、工業会へ電子媒体添付メールと原本郵送ご提出下さい。  
<必要書類>
  - ・ **申込書**（JPCAホームページよりダウンロードしてご利用下さい）
  - ・ 会社案内（現役の方のみ）

## 【お問い合わせ先】

一般社団法人日本電子回路工業会（担当：穴戸）  
〒167-0042 東京都杉並区西荻北3-12-2 回路会館2階  
TEL. 03-5310-2020 FAX 03-5310-2021 電子メール：EESMAP@jpca.org

# JPCAものづくりアカデミーカリキュラム（予定）

1日目 7月19日 (金) 予定 10:00~ 17:00	開講式～業界の経営環境と生産性向上の意義	山本治彦（校長／E-ESMAP代表幹事）
	良い設計の良い流れ	山本治彦（校長／E-ESMAP代表幹事）
	ものづくりの基礎概念	山本治彦（校長／E-ESMAP代表幹事）
	競争力と企業パフォーマンス	山本治彦（校長／E-ESMAP代表幹事）
2日目 7月20日 (土) 予定 10:00~ 17:00	アカデミー習得手法と現場改善の実践（特別講座）	山本治彦（校長／E-ESMAP代表幹事）
	現場の人づくりとカイゼンの会計学	田中正知（ものづくり大学名誉教授（Jコスト研究所代表取締役））
	小ロット生産と中国工場生産の損得	田中正知（ものづくり大学名誉教授（Jコスト研究所代表取締役））
	部分最適から全体最適	田中正知（ものづくり大学名誉教授（Jコスト研究所代表取締役））
3日目 8月2日 (金) 予定 10:00~ 17:00	経営指標と現場改善取り組み手順（特別講座）	山本治彦（校長／E-ESMAP代表幹事）
	現場改善導入の実践 考え方の概要	斎藤光昭（JPCA現場改善インストラクタ）
	標準作業のつくり方「標準3票と時間観測」	斎藤光昭（JPCA現場改善インストラクタ）
	標準作業の作成手順と工程別能力表の活用、「標準作業組合せ票・標準作業票」の作成（演習）	斎藤光昭（JPCA現場改善インストラクタ）
4日目 8月3日 (土) 予定 10:00~ 17:00	「見える化」目で見る管理	小川均（富士通OPT製造部付／E-ESMAP幹事）
	ものの流れ図／平準化・山積み山崩し票の活用法	小川均（富士通OPT製造部付／E-ESMAP幹事）
	ものと情報の流れ図のつくりかた	小川均（富士通OPT製造部付／E-ESMAP幹事）
	ものと情報の流れ図を活用した現場改善（演習）	小川均（富士通OPT製造部付／E-ESMAP幹事）
5日目 8月23日 (金) 予定 10:00~ 17:00	現場の作業観察「IEの活用」	浅野邦明（東京大学ものづくりインストラクター）
	標準作業分析演習（ピンボード）	浅野邦明（東京大学ものづくりインストラクター）
	作業を時間で管理する「標準作業と標準時間の設定」	浅野邦明（東京大学ものづくりインストラクター）
	作業のムダ排除・作業改善と原価低減	浅野邦明（東京大学ものづくりインストラクター）
6日目 8月24日 (土) 予定 10:00~ 17:00	ものづくり人材を育てる「ものづくり人材の条件」	秦俊道（東京大学ものづくりインストラクター）
	ものづくり人材を育てる「新人若手/班長、作業長、製造課長の育て方」	秦俊道（東京大学ものづくりインストラクター）
	現場改善を成功に導くリーダーシップ・挑戦意欲と現場の連携醸成	立花雅（JPCA現場改善インストラクタ/パナソニック）
	「考える、表現する、他社の意見を傾聴する」グループ討議（演習）	立花雅（JPCA現場改善インストラクタ/パナソニック）

※特別講座は、電子回路業界固有・特有のものづくり改善課題に対応した講座となります。  
 ※特別講義は、ものづくり国内外トレンド、要素・生産技術動向等のより広いテーマ講義となります。

# JPCAものづくりアカデミーカリキュラム（予定）

7日目 9月6日 (金) 予定 10:00~ 17:00	ものづくり会計・現場改善会計 設計情報転写論	柗紫乃（愛知工業大学准教授）
	ものづくり会計：投下資本回収効率	柗紫乃（愛知工業大学准教授）
	現場改善会計：改善効果の見える化	柗紫乃（愛知工業大学准教授）
	人が育ち、現場が強くなる管理指標	柗紫乃（愛知工業大学准教授）
8日目 9月7日 (土) 予定 10:00~ 17:00	エレクトロニクス産業の将来を考える～ものづくり競争戦略（特別講義）	藤本隆宏（東京大学教授）
	電子回路基板の品質保証レベルを自覚する	長谷川堅一（PWBコンサルタント）
	電子回路基板を作り込むための工程能力を把握する	長谷川堅一（PWBコンサルタント）
	電子回路基板の品質と経営	長谷川堅一（PWBコンサルタント）
9日目 9月20日 (金) 予定 10:00~ 17:00	電子回路基板の出口戦略とデザイン・イン（特別講座）	斉藤和正（元日立国際/実装彩科代表）
	TPMとIoT（保安全管理の弱点を見抜く力を育成する）	小林洋（設備管理学会・スマートメンテナンス研究会主査/日産自動車EL）
	計画保全の設計能力構築とデータ解析・故障要因分析、IoTによる現状改善	小林洋（設備管理学会・スマートメンテナンス研究会主査/日産自動車EL）
	IoTによる設備保全必要要件の設計フィードバック能力構築	小林洋（設備管理学会・スマートメンテナンス研究会主査/日産自動車EL）
10日目 9月21日 (土) 予定 10:00~ 17:00	3次元・部品内蔵基板の現状と今後（特別講義）	加藤義尚（福岡大学教授）
	現場指導の実際・指導事例	柳田俊明（JPCA現場改善インストラクタ）
	作業分析・ダンゴ（ロット）VS1個流し生産演習（懐中電灯/マルチペン組立・流し方演習）	柳田俊明（JPCA現場改善インストラクタ）
	作業分析・ダンゴ（ロット）VS1個流し生産演習（作業時間管理・動作分析演習）	柳田俊明（JPCA現場改善インストラクタ）
11日目 10月4日 (金) 予定 10:00~ 17:00	自動化・ロボット活用生産性向上の考察（特別講義）	小島史夫（早稲田大学客員教授（デンソー生産革新センターEA）/E-ESMAP幹事）
	自動化・ロボット活用の為の設備導入仕様書書き方入門	原田豊雄（ハラダ、サポートエンジニアリング/デンソーOB）
	自動化・ロボット活用の為の設備導入仕様書書き方入門	原田豊雄（ハラダ、サポートエンジニアリング/デンソーOB）
	自動化・ロボット活用の為の設備導入仕様書書き方入門	原田豊雄（ハラダ、サポートエンジニアリング/デンソーOB）
12日目 10月5日 (土) 予定 10:00~ 17:00	整流化を進めるための生産システム（特別講義）	福田好朗（法政大学名誉教授/E-ESMAP諮問委員）
	ロボットの基本操作プログラミング基礎	澤田洋祐（デンソーウェーブ）
	ロボット手動操作～自動運転までの流れ	澤田洋祐（デンソーウェーブ）
	作業シミュレーション等各種機能（実機操作演習）	澤田洋祐（デンソーウェーブ）
13日目 (10月7日 ～12月中) 午前・午後 2講座	現場改善実習OJT研修を実施Ⅰ	山本治彦（校長/E-ESMAP代表幹事）
	現場改善実習OJT研修を実施Ⅱ	斎藤光昭/柳田俊明（JPCA現場改善インストラクタ）

## 講師のご紹介

講師 (概論・手法)	プロフィール
<b>山本 治彦</b> (兼特別講座講師) 	JPCA副会長／超高効率電子回路生産システム (E-ESMAP) 研究会代表幹事 (アカデミー校長) 富士通生産技術本部長のおり、岩城宏一氏にTPSの指導を申し入れ、富士通での指導会 (関係5社) を開始。その後富士通ICT (電子回路基板製造業) 社長として7年間、特別顧問として3年間岩城氏に指導を受ける。JPCA会員中小企業経営者に経営者の現場改善に対する心構え等を指導、MKN「第2回ものづくりシニア塾」入塾受講し、全国唯一の工業会主催カイゼンスクール開講に尽力。
<b>田中 正知</b> 	元トヨタ自動車工業(株)生産調査部長。ものづくり大学名誉教授。東京大学大学院経済学研究科MMRC特任研究員。株式会社Jコスト研究所を設立。現場改善コンサルティングに従事。
<b>斎藤 光昭</b> 	日本オイルシール工業株式会社 (現、NOK(株)) にて、フレキシブルプリント配線板 (電子回路基板) 製造専門子会社をはじめとするグループ各社への改善指導・人材育成業務に従事し、業界OBとしてJPCA会員中小・中堅企業への現場改善指導を実施中。
<b>小川 均</b> 	電子回路業界でトヨタ生産方式を導入実践している富士通オプティカルコンポーネンツ株式会社製造統括部担当部長。工程内カンバンによる後引き、JIT供給、工程標準化生産 (指定席後引き生産) 等を実践し、生産革新人材育成、物と情報の流れ図指導を得意とする。
<b>浅野 邦明</b> 	日産自動車株式会社の工場で、IE技術を機軸に標準時間設定・能率管理、改善及び原価・VA等の業務に従事。国内外サプライヤー体質改善活動・部品原価低減活動、海外拠点研修生教育等実施。05年 東京大学ものづくりインストラクター@養成スクール第1期修了。現在、各地域スクールで講師を勤める他、中小企業の改善に従事。
<b>秦 俊道</b> 	元日東電工(株)人事部教育センター課長。1970年日東電工入社。最初の20年間を生産技術部門に所属し、亀山と豊橋の両事業所にて生産設備の設計・製作・据付等を担当。その後人事教育部門へ異動、職種別教育 (生産技術、製造など) や階層別教育 (新人～管理職) の企画・運営を担当。2006年定年退職後C & L研究所を設立、中小企業の社員教育や現場改善を指導。東京大学ものづくりインストラクター養成スクール修了 (3期)
<b>立花 雅</b> 	パナソニック入社以来プリント配線板担当事業部門で商品開発、プロセス開発、工場技術、セールスエンジニア、事業企画等に従事。特に顧客対応を通して、設計段階の改善や現場の5S、異物低減、プロセス改善などに従事。東北地方改善スクールのリーダー育成講習講師。JPCAものづくりアカデミー修了 (第1期)
<b>柘 紫乃</b> 	愛知工業大学経営学部経営学科准教授。お茶の水女子大学文教育学部史学科卒。2009年経営情報科学博士 (愛知工業大学経営情報科学研究科) 専門は、ものづくり管理会計、人材育成、地域連携等。トヨタ生産システムと業績数値の関係等を研究中。
<b>藤本 隆宏</b> (特別講義講師) 	東京大学大学院経済学研究科教授。ものづくり経営研究センターセンター長。(一社)ものづくり改善ネットワーク代表理事。1979年東京大学経済学部卒業、三菱総合研究所入社、1984年ハーバード大学ビジネススクール博士課程入学、1989年博士号取得、現職。東大ものづくりインストラクター養成スクールやものづくり地域スクール開講を実現。
<b>長谷川 堅一</b> 	日立化成(株)電子部品事業部品質保証部長、和田電子工業(株)工場長、社長、アケボノテクノス(株)社長歴任、退任後コンサルタント活動を開始、現在に至る。プリント配線板、電子部品等の検査・信頼性評価・各種解析技術、問題解決・品質管理手法、クレーム対策、5S管理等を核にした製造現場改善及び経営改善に関する指導担当。
<b>斉藤 和正</b> (特別講座講師) 	(有)実装彩科代表取締役。PWBコンサルタント。日立国際電気にて公共機器・システム用電子回路基板の設計基準・生産技術、品質保証及び基板・材料の海外調達を推進。現在は国内外電子回路基板製造業サプライチェーン全域のビジネスコンサルティングに従事。
<b>小林 洋</b> 	1980年日産自動車入社。新車・新規設備開発から導入、維持管理業務、設備信頼性改善源流対策の仕組み構築、保全業務のグローバル標準化、工場の稼働状況の見える化ツールの開発とグローバル展開、稼働率向上活動を推進。また、社外活動では、日本設備管理学会にて設備管理の普及、標準化、IoT活用設備診断技術開発を推進中。
<b>加藤 義尚</b> (特別講義講師) 	福岡大学半導体実装研究所教授。(一社)エレクトロニクス実装学会元理事。電子回路材料、電子回路基板メーカーの技術開発部門に長年従事し、社内及び公的機関において、プリント配線板製造、実装プロセスに関する講義からものづくり人材育成講座講師などを多数歴任。部品内蔵基板や3次元半導体実装、モジュール開発技術研究、オープン型ネットワークでの情報共有に努める。
<b>柳田 俊明</b> 	生産システムコンサルタント。富士通(株)生産技術本部にて全社生産革新、現場改善指導・育成に従事。現在は(公財)石川県産業創出支援機構、川崎市等の要請により中小電子回路製造業者、電子部品製造業者等の現場改選指導を実施中。
<b>小島 史夫</b> (特別講義講師) 	(株)デンソー生産革新センターエグゼクティブアドバイザー、工学博士。早稲田大学客員教授。工程開発・生産システム開発に従事し、生産技術から新工法電子回路基板の開発や電子回路生産プロセスの自動化、ロボット活用研究、リーンオートメーションを提唱指導。
<b>原田 豊雄</b> 	(株)デンソー工機部にて専用機、ロボットの組立、自動化システム立ち上げに従事。デンソーシステムズへ出向、デンソーウェーブへ転籍後、社内外のFAシステム、ロボット・視覚装置技術サポートに従事。現在、ハラダ、サポートエンジニアリング代表として、様々な業種業態の工場への自動化、ロボット導入プログラミング支援中。
<b>福田 好朗</b> (特別講義講師) 	法政大学名誉教授。主な研究分野は、生産現場力を育てる生産システム設計、シミュレーション・システム、設備管理、工程設計。中央大学卒業後、機械振興協会入職。89年工学博士 (神戸大学)。96年より法政大学工学部教授、同デザイン工学部システムデザイン学科教授、常務理事、副学長グローバル教育センター長を歴任。
<b>澤田 洋祐</b> 	1985年に日本電装(株) (現: (株)デンソー) 入社。産業用ロボットの事業化に参画後、(株)デンソーウェーブロボット事業部製品企画室にて新製品企画及びカスタマーサポート担当。ロボット等工場内各種装置の、メーカー、機種の違いを超えた統一的なアクセス手段ORiN協議会広報委員長に就任、IoTオープン化の普及促進に努める。